

《五嶋龍メッセージ⑩》

日本の皆様、RF の皆様

昨日は、「奴隷解放記念日」。暑すぎず湿度も高すぎず、デモをする人達、観客(?) にとって格好のNYだった。

夕方6時頃、何処からともなく羽虫の大群が押し寄せてきたかの騒音が、はっきりとシュプレヒコールになって近づき、全員マスク、自転車、国籍問わずで、曲乗りを見せつける者、「エンドレスの自転車・デモ」がブロードウェイの交通を振り切って、迫力満点で行われた。

一見、パレードか名物か、のデモには慣れていた僕の記憶の中では初めて、人種差別に対する叫びが同じ国民、政府に向けられたもので、それが正義の主張というより、むしろ、自分たちはYOU(=差別意識を助長している好敵手)とは違うんだぞ! と軽蔑した相手を手玉に取っているようにも見える。

悲惨さは微塵もなくエキサイティングに映る。ニュースのベストテン1位を易々と譲ったコロナ災害。

医療従事者に感謝の気持ちを表現する午後7時にフライパンを叩く音や自動車の警笛が街中にけたたましく響いていたのが消え、陽が落ちてから午前2時頃まで続く爆竹の音、花火、が制裁なく続く今日この頃である。



2020年6月21日 五嶋 龍

《五嶋龍メッセージ⑫》

日本の皆様、RF の皆様

九州地方を襲う、豪雨の被害にあわれている方々、無事に避難され、温かいご飯が食べられますように。

もう、新型コロナの話はよそう、と決めたのに、アメリカでも感染は広がるばかり。今日午後1時のマンハッタン・タイムズスクエア付近は、平和そのもの。この中で生活環境、衛生、健康状態、リミットされた思考範囲、諸々で積み上げられた壁が自由の国社会を二分しているのだ。

日本の新聞が、独立記念日のブルックリンの海岸が日光浴の人たちで混み合っている写真を載せていた。何を報道しているつもり？ 写真を拡大すればわかる。恵まれた人々は、別荘かペントハウスのテラスにゴロンとしてるんだってことが。



利用者のいないレンタル自転車



マンハッタンのバス、ドライバーと接触しない！



弱者用の地下鉄座席

2020年7月7日 五嶋 龍